

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 石光商事株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 山根 清文 TEL 078-861-7791(代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,705	3.2	128	△33.9	139	△29.9	192	74.1
23年3月期第3四半期	25,869	2.4	194	△61.9	199	△58.4	110	△58.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 150百万円(12.3%) 23年3月期第3四半期 133百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.97	—
23年3月期第3四半期	14.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,816	7,604	34.0
23年3月期	18,838	7,536	39.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,427百万円 23年3月期 7,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,655	2.1	92	△46.6	69	△58.7	137	△28.1	17.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期3Q	8,000,000株	23年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	291,660株	23年3月期	291,660株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期3Q	7,708,340株	23年3月期3Q	7,708,369株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気の低迷から緩やかな持ち直しが見られるものの、欧州の債務危機などを背景とした海外景気の下振れや円高の長期化などの影響により、先行き不透明な状況となっております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、景気の先行き不安による消費者の節約志向などにより、厳しい状況となっております。また、コーヒー業界におきましても、引き続きコーヒー生豆相場が高値で推移したことで業績に大きな影響を与えることとなり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」をめざすべき企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、マーケティング、品質管理等の全ての工程に関わり合っ商品価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業をめざしております。

また、当連結会計年度は新成長戦略(GO GO PLAN)を策定し、営業強化(「重点商品の販売拡大」、「顧客との取組強化」、「海外事業拡大」)、体制強化(「部門・チーム間の連携強化」、「品質体系の確立」、「物流、人事、財務、情報システム改革」)という強化策に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は26,705百万円(前年同期比3.2%増加)となりました。一方、利益面につきましては、コーヒー生豆相場および原材料価格高騰の影響等により売上総利益率が低下いたしましたことから、営業利益は128百万円(前年同期比33.9%減少)、経常利益は139百万円(前年同期比29.9%減少)となりました。また、法人税率が引き下げられることによる法人税等調整額の減少および子会社の整理に伴う影響等により、四半期純利益は192百万円(前年同期比74.1%増加)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

## ① コーヒー生豆

コーヒー生豆の売上高は販売数量の増加および相場高騰に伴う販売単価の上昇により、4,710百万円(前年同期比35.1%増加)となりました。

## ② 飲料製品および原料

レギュラーコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料および家庭用袋入商品が増加したことにより、前年同期比11.1%増加いたしました。インスタントコーヒーの売上高は飲料メーカー向け原料が減少したものの、家庭用袋入商品が増加したことにより、前年同期比14.4%増加いたしました。茶類の売上高は飲料メーカー向け原料が減少したことにより、前年同期比23.8%減少いたしました。その結果、飲料製品および原料の売上高は3,306百万円(前年同期比3.6%減少)となりました。

## ③ 常温食品

フルーツや野菜の加工食品の売上高はミカン缶詰およびマッシュルーム缶詰の増加により、前年同期比3.3%増加いたしました。イタリアからの輸入食品はパスタが増加したものの、オリーブオイルが減少したことにより、前年同期比3.7%減少いたしました。国内メーカー商品の売上高は国内販売および輸出が減少したことにより、前年同期比6.7%減少いたしました。その結果、常温食品の売上高は6,856百万円(前年同期比3.2%減少)となりました。

④ 冷凍食品

水産加工品の売上高はエビ加工品およびタコ加工品が増加したことにより、前年同期比10.4%増加いたしました。調理加工品の売上高は豚肉加工品が減少したものの、鶏肉加工品が増加したことにより、前年同期比3.5%増加いたしました。イタリアからの輸入食品の売上高はブラッドオレンジジュースが増加したことにより、前年同期比15.6%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は輸出が増加したものの、国内販売が減少したことにより、前年同期比9.1%減少いたしました。その結果、冷凍食品の売上高は7,182百万円（前年同期比4.5%増加）となりました。

⑤ 食品原料

食品原料の売上高は塩蔵野菜、水煮野菜および飲料メーカー向けの原料が増加したものの、生鮮野菜およびトマト加工品が減少したことにより、4,406百万円（前年同期比7.0%減少）となりました。

⑥ その他

その他の売上高は243百万円（前年同期比4.4%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は21,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,977百万円の増加となりました。これは主に売上債権およびたな卸資産の増加によるものであります。

負債合計は14,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,908百万円の増加となりました。これは主に仕入債務および借入金の増加によるものであります。

純資産合計は7,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円の増加となりました。これは主に当第3四半期連結累計期間の四半期純利益192百万円、配当金の支払い77百万円および繰延ヘッジ損益の減少29百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表いたしました平成24年3月期通期業績予想値を修正しております。

詳細につきましては、本日発表しております「平成24年3月期通期業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,974,380	1,933,872
受取手形及び売掛金	5,496,238	7,845,461
商品及び製品	4,068,969	4,682,593
未着商品	859,448	710,686
仕掛品	17,905	4,704
原材料及び貯蔵品	57,378	64,025
その他	320,275	362,902
貸倒引当金	△161,964	△52,652
流動資産合計	12,632,631	15,551,592
固定資産		
有形固定資産	2,825,007	2,859,261
無形固定資産	134,269	98,703
投資その他の資産		
投資有価証券	2,869,697	2,926,793
その他	711,879	707,688
貸倒引当金	△350,847	△339,848
投資その他の資産合計	3,230,729	3,294,633
固定資産合計	6,190,005	6,252,597
繰延資産	16,077	11,823
資産合計	18,838,714	21,816,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,770,963	4,283,200
短期借入金	1,584,000	2,168,000
1年内償還予定の社債	180,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,051,928	1,328,500
未払法人税等	59,553	3,094
賞与引当金	129,662	67,149
その他	1,349,133	1,326,196
流動負債合計	7,125,241	9,356,141
固定負債		
社債	730,000	570,000
長期借入金	2,623,202	3,514,400
退職給付引当金	111,051	128,536
その他	713,078	642,159
固定負債合計	4,177,332	4,855,095
負債合計	11,302,573	14,211,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,449,206	6,564,577
自己株式	△107,398	△107,398
株主資本合計	7,322,008	7,437,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,771	4,133
繰延ヘッジ損益	15,078	△14,298
その他の包括利益累計額合計	24,850	△10,165
少数株主持分	189,282	177,562
純資産合計	7,536,141	7,604,776
負債純資産合計	18,838,714	21,816,013

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	25,869,396	26,705,543
売上原価	22,492,719	23,489,868
売上総利益	3,376,677	3,215,675
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	49,343	△114,003
報酬及び給料手当	962,566	901,284
賞与引当金繰入額	60,332	59,548
その他	2,109,590	2,240,105
販売費及び一般管理費合計	3,181,832	3,086,934
営業利益	194,844	128,740
営業外収益		
受取利息	3,188	3,617
受取配当金	2,762	2,962
持分法による投資利益	53,612	62,141
受取賃貸料	18,100	16,050
その他	29,301	29,736
営業外収益合計	106,965	114,507
営業外費用		
支払利息	74,065	91,333
その他	28,351	12,073
営業外費用合計	102,417	103,407
経常利益	199,392	139,840
特別利益		
固定資産売却益	480	13,250
投資有価証券売却益	4,974	—
関係会社株式売却益	—	12,863
貸倒引当金戻入額	703	—
事業譲渡益	—	9,865
特別利益合計	6,157	35,979
特別損失		
固定資産売却損	—	384
固定資産除却損	19,901	2,217
投資有価証券売却損	863	1,977
会員権評価損	—	400
債権譲渡損	—	16,580
その他	675	42
特別損失合計	21,440	21,601
税金等調整前四半期純利益	184,109	154,218
法人税、住民税及び事業税	28,219	5,269
法人税等調整額	44,610	△36,159
法人税等合計	72,830	△30,890
少数株主損益調整前四半期純利益	111,279	185,108
少数株主利益又は少数株主損失(△)	706	△7,345
四半期純利益	110,572	192,454

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111,279	185,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,922	△1,644
繰延ヘッジ損益	25,965	△29,377
持分法適用会社に対する持分相当額	4,373	△3,975
その他の包括利益合計	22,416	△34,997
四半期包括利益	133,695	150,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,993	157,438
少数株主に係る四半期包括利益	702	△7,327

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。